

ホップ♪ ステップ♪ のとがわ

能登川地区まちづくり協議会



東近江市消防団第20分団 消防車の入魂式

平成23年12月23日(祝)
伊庭町大浜神社にて



小学生ゲーム大会

2月11日(祝) 能登川コミュニティセンター大ホールで、大人・子ども約110名が参加し、餅つき体験、新聞分割ゲームなどをして遊びました。

■主催：能登川地区子ども会指導者連絡協議会



ひまわり・こすもす組による合唱

2月4日(土) ひばり保育園にて「みんなのつどい」を開催



この作品は何でしょう？西小学校体育館にて、子どもと大人が一緒になって魔法の板「カプラ」を使って作りました。

■能登川西こどもの家スマイル



園児とのお話



カルタ取り

2月10日(金) めじろ保育園にて、老人クラブ連合会能登川ブロックのひとと園児との「昔なつかしあそび」のふれあいを開催。

No. 30

発行：能登川地区まちづくり協議会 発行日：平成24年3月20日
〒521-1292 東近江市駄光寺町262番地 東近江市能登川支所内
IP 電話 0505-802-2793 (平日午前中) FAX：0505-802-2793
E-mail：notomatikyo@e-omi.ne.jp
<http://members.e-omi.ne.jp/notomatikyo/>

第17回 無垢な魅力能登川を歩くハイキング

新緑の織山と 湖国の奇祭 伊庭の坂下し祭

健脚向

5/4(祝)
小雨決行

■コース：JR能登川駅→石馬寺→あじさいさくら公園→湖国の大パノラマ→須田不動の滝→やわらぎの郷公園→超光寺→伊庭の坂下し祭→伊庭御殿跡→JR能登川駅

■歩程：約10km(途中アップダウンのある山中を歩きます)

■受付・集合場所：JR能登川駅改札口前
(受付 9:00～ 出発 9:30)

■参加費：500円 (ハイキングに参加ご希望の人は)
事前に申し込みが必要です。

■昼食に炊き込みご飯(350円)をご希望の人は、参加予約時にお申し込みください。

■詳しくは、自治会回覧をご覧ください。または
東近江市商工会能登川支部にお問い合わせください。

■主催、お申し込み先

東近江市商工会女性部能登川支部いきいき事業研究会
TEL 0748-42-1158 IP 0505-802-2559 (平日 9:00～17:00)
FAX 0748-42-6335



歴史点描 ⑩

市史編纂室だより

『東近江市史 能登川の歴史』第4巻 資料・民俗編 刊行!!

まもなく『東近江市史 能登川の歴史』第4巻資料・民俗編が刊行になります。

本巻の内容として資料編では、古代から近現代までの能登川地区の歴史にかかわる資料を収録しています。



▲ 日枝神社 春祭り(栗見新田)

佐々木六角氏の重臣である伊庭氏・伊庭荘関連文書や安楽寺に關わる『八王子法橋伝来文書』・『八王子稚児宿伝来文書』を収録しました。中世文書がまとまって残っていることは珍しく、能登川地区の中世史解明のための

貴重な史料です。民俗編では、能登川地区の特色ある宗教行事や琵琶湖・内湖に関連した生業など、長い歴史のなかで営まれてきた民俗文化にふれています。また、各集落の祭りも詳しく紹介をしています。

書籍の販売や記念講演会については、後日自治会回覧などでお知らせしますのでご期待ください。

■お問い合わせ

東近江市山路町2225
埋蔵文化財センター内市史編纂室まで
TEL 42-5031 IP 0505-801-5011

今後の刊行予定

平成25年 4月	第2巻	中・近世編
平成26年 4月	第3巻	近・現代編
平成27年 4月	ダイジェスト版	

平成24年度 能登川地区まちづくり協議会

総会開催のお知らせ

■日時 5月19日(土) AM 9:30～12:00

■場所 やわらぎホール

■内容 ① 平成23年度事業報告と決算報告
② 平成24年度事業計画と予算
③ その他

まち協会員の募集!

まち協では、「住みよいまち、住みたいまち、住み続けたいまち」を実現することを目的に結成されたボランティア団体です。事業部制により各種の活動を行っていますが、まだまだ人手不足であることから多くのみなさまの参加を募集します。特に「安全・安心事業部」への参加をお願いします。

ご賛同いただける人は、まち協事務局まで。ご連絡をお待ちしています。
(まち協事務局 IP 0505-802-2793 平日午前中)

自主防災フォローアップ研修 開催報告

2月28日(火)、やわらぎホールで、能登川地区まちづくり協議会主催による平成23年度自主防災フォローアップ研修を開催しました。参加人数は約50名。

第1部では、NPO法人阪神高齢者障害者支援ネットワーク理事長 黒田 裕子氏による「東日本大震災から学ぶ防災・減災策」について講演がありました。平成7年1月の阪神大震災で被災され、その後、仮設住宅支援ボランティア活動を通じての災害看護、ボランティアの在り方などについて各地を公演に廻られており、東日本大震災では震災直後より被災地に入りボランティア活動をされています。これらの震災の教訓をいかに学ぶことの大切さをいろんな角度（ボランティア、日頃の備え、地域の人とのかかわり、高齢者、要介護者、



黒田氏の講演

避難所など）からお話いただき、これからの我々の取り組みの大きな方向・対策を考えさせられました。

第2部では、能登川まち協が実施した東日本大震災復旧支援ボランティア活動に至った経緯と、昨年4回実施した復旧支援活動の報告がありました。加えて、今後の支援活動は今とは変わるだろうが、まだまだ多くのボランティアが必要であると述べられました。

第3部では、東佐野自治会・能登川自治会・緑が丘自治会による「かまどベンチ」製作の経緯と苦労話、火入れ式、そして製作した「かまどベンチ」を今後どのように活用していくか、の発表がありました。

黒田氏の講演と東日本大震災の状況を見て、地域の我われが自ら活動し守る大切さを感じ、自主防災組織の更なる必要性と、今後の取り組みの施策、組織の強化を図って行きたいものです

第4話

介護保険法第4条の

意味を考えてみる



介護保険法第4条の後半、『要介護状態となった場合においても、進んでリハビリテーションその他適切な保健医療サービス及び福祉サービスを利用することにより、その有する能力の維持向上に努めるものとす』とあります。

「要介護」とは誰かの手を借りないと日常の生活ができないこと、そしてその状態は一人ひとり違うため「介護サービス」の内容も異なることとなります。

「進んでリハビリ」：その有する能力の維持向上に努める」とは、自分であきらめず少しでも機能が回復するようリハビリを積極的に行ってくださいというメッセージだと思えます。現状のリハビリの質が、はたしてその期待に応えるメニューかは懸念されるところです。

一部の介護施設、リハビ

リ専門病院では「回復状態の目標」と「期間」が示されるような所もありますが少数派です。

何よりもリハビリを受ける人が自分の状態をしっかりと理解し受け止めて「回復の目標」を医師や療法士とことごと話し合いリハビリに取り組む姿勢が必要で、ご本人の熱意に勝る治療はありません。

「良くなりたい」という思いは誰でもお持ちのはずですが、その熱意には温度差があります。

リハビリは辛く長い道のりで、なまやさしいものではありません。続けてゆく精神力を周囲の方々が支え励まし継続させることです。

患者の熱意が医師や療法士の心を動かします。しっかりと目標を持った熱心な患者が、熱意のある医師や療法士を育てるのではないかと思います。

■記事に関するお問い合わせ 認知症キャラバン・メイト IP 0505-802-5094

老いと向き合って生きる

パート・アルバイトの募集

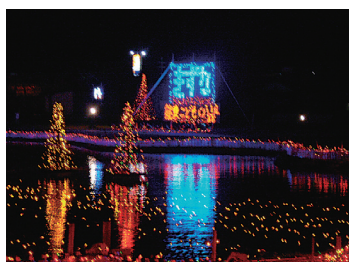
能登川地区3か所の学童保育所では、アルバイトを募集します。

放課後、子どもたちと一緒に遊んでいただける人、将来子どもにかかわる仕事に就きたい人、子どもが大好きな人はご連絡お待ちしております。

問い合わせは、各学童までご連絡ください。

■お問い合わせ先

さくらんぼクラブ	旧すみれ児童館 (東小学校となり)	TEL : 0748-42-5929 IP : 0505-802-2506	 北小学校の児童も入所可能です
スマイル	西小学校内 多目的室	IP : 0505-502-2507	
あおぞらクラブ クローバクラブ	南小学校内	TEL : 0748-42-9833 IP : 0505-802-2508	



ご協力ありがとうございました 2011 Lighting Bell in NOTOGAWA

平成23年12月17日(土)～24日(土) 林中央公園

この能登川地区でイルミネーションを点灯しておかげさまで8回目を終えることができました。これもひとえにみなさま方のご協力と感謝申し上げます。

今回の開催は、東日本大震災もあり社会的に節電を余儀なくされるなか開催するか実行委員会でも話し合いをしましたが、地域のつながりを大事にし、被災された方々に元気を送りたいとの想いから『ともしびの絆・・・つながろう日本』をテーマに開催しました。イルミネーションはすべてLEDで消費電力は少ないのですが、節電のこともあり風力発電に関する企業に相談しましたら快くご協力いただき、会場の「アニメ」は実際に風力発電で点灯しました。

メイン看板は能登川中学校美術部にお問い合わせをし、テーマを絵画とイルミで表現

していただきました。

今年はNHKテレビ「おうみ発610」で生中継されたこともあって、例年以上の2万人ちかい来場者がありました。最終日はクリスマスイブと重なり竜王青年団のみなさまに「絆」の火縄絵を計画していただき、当日会場のみなさまとともに点灯しておおいに盛りあがりしました。

模擬店の水車うどん売上金の一部は、まちづくり協議会主催の東日本大震災復旧支援ボランティア活動に多額の寄付を行いました。

寒い時期ではありましたが多くの方々のご協力、ご参加いただいたことに感謝申し上げます。また、近隣の方々には何かとご迷惑をおかけしましたが、ご理解ご協力誠にありがとうございました。

■主催：ライティングベル実行委員会

ご寄付・ご協力者一覧表

(敬称略・順不同)

曾根尚義・ニシムラ風呂・ヘアーサロンシミズ・堀田米酒店・湖東信用金庫能登川支店・森武彦マルエイ・小田原医院・(株)タナベエナジー・(有)田附牧場・創作和菓子かわもと・木村智也・藤よし岡八商店・伊藤歯科医院・メガネ21能登川店・五個荘能登川ロータリークラブ・(有)大辻モータース(有)鮎清・(有)大橋創園・(株)武藤造園・那須寛士・永井康雄・保智明美・古株尚子・湖栄設備工業所(株)造園佐野・三協(株)・Kan・(有)クルマヤ・小川歯科医院・西崎事務所・本庄接骨院(株)本庄治良堂薬局・(有)森新聞舗・(有)扇久・(株)田辺消防システム・男の料理有志・遊友会有志遊歩会有志・滋賀県レイカディア大学能登川地区同窓会・東近江市老人クラブ連合会能登川ブロック東近江市商工会青年部能登川支部・彦根市稲枝地区公民館・のとがわ水車太鼓カルチャーハウスA&Iキッズダンス・林町自治会有志・CREW R.S竜王青年団公益社団法人東近江市シルバー人材センター能登川連絡所・ハンドベルなでしこ能登川中学校美術部・能登川ボランティア連絡会・能登川西こどもの家スマイル能登川東こどもの家さくらんぼクラブ

収支報告

(単位：千円)

収 入	前回の繰越金	443
	寄 付 金	294
	会場での募金	378
	収 入 計	1,115
支 出	開催準備費(事務費広報等)	125
	イルミ球・資材費・雑費	512
	支 出 計	637
	差引金額(次年度繰越)	478

*ガードマン費用(30万円)は、まち協より支出



コミュニティセンターなどの指定管理と 能登川地区のまちづくり

日々平穩に暮らすことができる。何ということない日常が大きな幸せであることを改めて実感させられた平成23年度が過ぎようとしています。

能登川地区まちづくり協議会も6年目にはいり、4月から新たに能登川コミュニティセンター(旧能登川公民館)、やわらぎホール、能登川勤労者会館の指定管理者になります。

管理・運営については、市民全体の福祉や活動の増進につながるよう市民のみなさまと市職員の方とも一緒に考えてまいります。

また、「能登川まちづくり推進会議」に多くの団体の参加をいただいで発足し、地域での課題やまちづくりに、それぞれの団体の特性を生かしながら情報を共有し、議論を深めながらの地域づくりの取り組みも始まります。

平成21年2月の能登川地区の住みごちに関するアンケート調査では、自然が豊かで、交通の便が良い、

商業が盛んで暮らし易い地域であるとの評価が多くありました。自治会への加入率も高く、教育・医療・福祉も水準以上で、犯罪も少ないという理想的な生活環境が整っています。しかし一方まわりに目を向けると、空家が点在している、一人暮らしの高齢者が多い、店の数が減ってきている、子どもの数が少ない、近くに働く場が少ない、地域の役員の手が足りない、なども最近目立ってきております。

この地域のまちづくり、ひとつくり、環境づくりは、地域のひとり一人が感じ、考え、行動することにあります。自立した人が数多く地域で活動し議論する新しい出会いが、明るく楽しい「まち」をつくっていくのでしよう。

今もむかしも能登川はそんな「まち」であって、これからそうでありたいと思うのはわたしだけなのではしょうか。

能登川地区まちづくり協議会

会長 藤居 正博